

国道2号倉敷立体事業 vol.3～新しい桁の上に載っている 2台のクレーンは何？～

2019.03.11



前回 Vol. 2 では、橋桁の降下作業とクレーン架設の様子を紹介しました。(詳しくは、Vol. 2 をご覧下さい)

クレーンも色々な規格のものがおり、現場には用途に応じて大小様々なクレーンが登場します。

今回は新しい桁の上に載っている **2台のクレーン** について、今回も横河ブリッジ(株)の柏木さんに教えていただきました。

Q. このクレーンはどのくらいの大きさのクレーンなのですか？

A. 25 t 吊のクレーンです。

Q. このクレーンをどうやって桁の上に載せたのですか？

A. 350 t 吊のクレーンで吊り上げて載せました。



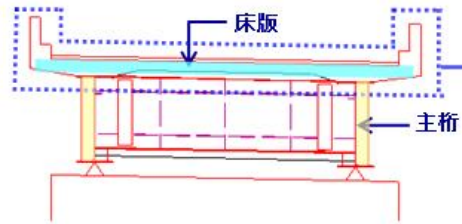
Q. このクレーンはどのようにして移動しているのですか？

A. レールの上を駆動台車で移動しています。1基あたり最大で50tの重量を受け持つことができます。電動により駆動します。



Q. このクレーンはどんな作業をしているのですか？

A. 足場の組立や*床版（しょうばん）の架設をしています。



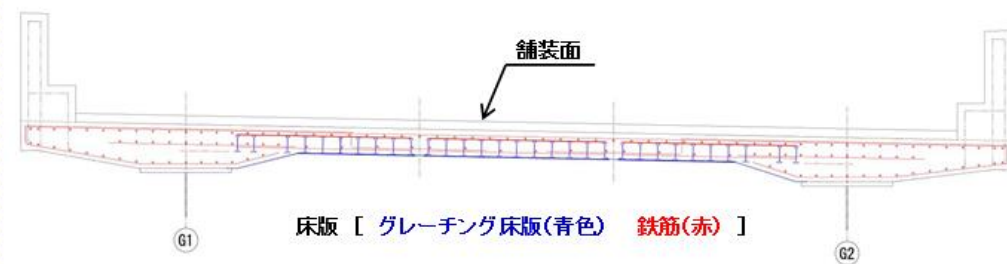
Q. この足場は何をするための足場ですか。

A. 床版工事のための足場です。

床版は、鉄筋構造なので（図1参照）鉄筋を設置したり、コンクリートを流し込んだりする時に使います。

作業員さんが歩くための通路になります。

図1 …床版の断面図





***床版架設**

床版の底の部分にあたる**グレーチング床版** (図1参照) を置いているところです。
1枚あたり長さ約12mで重さは2.5tです。今回は広島県呉市で作成したパネルを持ってきました。



グレーチング床版と鉄筋の設置が終わると、次はその上からコンクリートを流し込む作業が行われます。

この記事の最初に載せている空撮写真は、2月10日に撮影されたものです。こ

の日は珍しく雪が積もっていて、いつもと違った雰囲気の写真になっています。桁はつながりましたが、これからも工事はまだ続きます。現場は、寒い季節も暑い季節も絶え間なく動いています。作業される方の健康や安全を祈りつつ、これからも高梁川大橋ができていく様子を見ていきたいです。

玉島維持出張所 *Beautiful Wind*